

# 桂川っ子

VOL.36

## 「3年間の結びの卒業式」

桂川中学校 校長 安永保之

「1年生の頃は、挨拶もまともにできず、「小学7年生」と呼ばれていた。しかし、2年生・3年生となつて、僕は変わってきた。授業にもまじめに取り組むことができるようになり、人のために働くことが好きになったり、無愛想な性格から優しい性格になったりと、皆、違いはあるけれど良い方向に変わった。」と卒業生代表は答辞の中で述べました。

事実として、「道」「旅立ちの日に」の全員合唱では、整然とした立ち姿で歌う、素晴らしいハーモニーに、参観者の心に感動とひとつの伝統として残してくれたのではないのでしょうか。

これらを、「三つ心、六つ<sup>しづけ</sup>、九つ言葉、一二文、一五<sup>ことわり</sup>理で未決まる」という段階的江戸養育法（※）に当てはめると、まだ道半ばですが、今後とも温かくご支援ください。

### ※【段階的江戸養育法】

心は、美しいものを美しいと感じる感性。躰とは、親のマネをさせる。言葉は、挨拶・相づち・世辞が言える。文は、主の代書。理は、森羅万象の仕組みや意味、ものの道理です。これらは、ひとり立ちできる力を年齢に応じて身につけさせることです。

## 「子どもが輝くために」

桂川小学校 校長 本田義隆

重点目標の児童評価の到達度です。

項目	到達度 (%)
きまりやルールをまもる。	86
人にめいわくをかけない。	85
はげみタイムに取り組む。	94
自分の考えをノートに書く。	87
自分の考えを発表する。	67
友だちの顔をみてきく。	80
人を大切にする言葉をつかう。	80
学校をきれいにする。	82
黙って時間いっぱい掃除する。	76
感謝されることをする。	85

右記の結果を関係者評価していただきました。その中で、自分を客観的にみる力をつけていくこと、書く力と発表する力の差は、対人関係に課題がある等の指摘をいただきました。

自分をみつめるもう一人の自分、毅然と論を述べる力、道徳の時間、教科等学習の課題です。平成23年度、しっかりと取り組みます。

## 「朝の挨拶が深化しています」

桂川東小学校 校長 田島久美子

桂川東小学校の子どもたちは登校時、交差点や校門で地域の方々や朝の挨拶を交わしています。この「おはようございます。」の挨拶が、1月頃から少しずつ変化してきました。

○子どもたちから先に挨拶をする。  
○子どもたちの顔が上向きで、自信に満ちた明るい表情になってきた。

そして、これが今では、ほとんどの子どもたちの「朝の挨拶スタイル」になってきました。校門をくぐる事が嬉しいといった表情です。きつと、『楽しい充実した学校生活が校門の先に待っている・創り出せる』自信と確信があるのでしよう。毎朝、校門をくぐるまでに、保護者・地域の方々から安全見守りと挨拶を受け、一人ひとりが自分は大切にされているという思いをいただいて校門をくぐっているからだと考えます。そして、学校に入ってから、子ども同士お互いを大切にしながら、切磋琢磨して学び合い成長している「東っ子」です。

そんな素晴らしい「東っ子」と2年間かかわる貴重な体験が出来ましたことに深く感謝し、お礼申し上げます。本当にありがとうございます。桂川東小学校万歳！ 桂川町万歳！

